

# 2018年度 学校自己点検・評価

## 学校法人 日本芸術学園 日本芸術専門学校

### 目次

I. 教育理念・目的・人材育成像	1
II 学校運営	1
III. 教育活動	1・2
IV. 学修成果	3
V. 生徒・学生支援	4・5
VI. 教育環境	5・6
VII. 生徒募集	7
VIII. 財務	7
IX. 法令等の遵守	7
X. 社会貢献・地域貢献	8
XI. 国際交流	9

I. 教育理念・目的・人材育成像	
学校の教育理念・目標の設定	3つの教育理念（感動の教育、品格の教育、変革の教育）と2つのミッション（PreciousTreasure教育、100%）を掲げ、邁進している。
時代、社会、学習者のニーズへの適合	専修学校高等課程と専門課程を併設し、5年間、基礎から高度な技術まで、スキルを身につける芸術・芸能一貫教育を行うことで、近年激しく変化する学園内外の環境に柔軟に対応し、様々なニーズに応えている。

II. 学校運営	
理事会、評議員会の開催状況	2018年度は2回理事会と評議員会を開催した。それとは別に理事報告会を2回開き、学園の近況を報告し、意見を交換した。
学校運営会議、教育会議などの定期開催	教務部と企画営業部で月1回会議を開き、学内行事や学生生活、広報関連の近況を共有し、問題点の改善に取り組んでいる。また校長会を定期的に開催し（通常月1回のペース、緊急の案件がある場合はその都度）、各校舎間の連携を高め、学園全体の情報を共有し、必要な方針を決定している。
諸規程の制定	職務権限規程を学園内で定めた。今後も定期的に見直しを行うことで、学園の業務執行に関する、各職位の責任と権限をより明確にし、能率の向上に努める。
諸規程の定期的な見直し	各校労働者代表を集め、就業規則や賃金規則の変更を行った。（2019年度4月以降適用）
学則等の定期的な見直し	分かりやすい学納金情報を開示するべく、学納金についての学則を変更した。（2020年度4月以降適用）

III. 教育活動	
カリキュラムの構成 （教養科目と専門科目、座学と実習など）	主に、実績のある担当講師による専門科目（演習授業）となっている。また、教養科目として外国語授業、その他、資格の取得が可能な授業を開講した。
カリキュラムに対する学生・卒業生の評価	学生・社会のニーズに合わせたカリキュラムを作成し、その点において高評価を受けた。
カリキュラムの定期的な点検及び見直し	学生回答のカリキュラムアンケートを基に、学内の教職員で話し合い、授業科目・担当講師の検討を行った。

シラバスの作成・学生への提示状況	各授業の担当講師にニーズを伝え、シラバスを作成し、授業計画を立てた。学生へはガイダンス時にシラバスを配布、窓口にも常に設置し、公表した。
教育方法の工夫・研究の取り組み	一人ひとり、希望進路に合わせたアウトプットの場を設け、関係業界企業と連携した実践的な授業を行った。
生徒・学生の授業評価とその反映	<p>GPA を導入し、学内の成績評価としている。 GPA の評価方法は以下である。</p> <p>各授業全出席で 100%として、出席率 70%以上で成績評価の対象となる。</p> <p>評価点は、各授業科目の試験（実技または筆記）及び学生の学修意欲を見て 100 点満点を基準として、40 点以上で単位修得としている。また、その評価点により 100～85 点を評価 5、84～70 点を評価 4、69～55 点を評価 3、54～40 点を評価 2、39～0 点を評価 1 として成績が通知される。なお、成績が 1 の場合は、単位取得不可となる。</p> <p>GPA は、評価 5 を 4 点、評価 4 を 3 点、評価 3 を 2 点、評価 2 を 1 点、評価 1 を 0 点として換算し、(評価 5 の単位数×4 点+評価 4 の単位数×3 点+評価 3 の単位数×2 点+評価 2 の単位数×1 点)の合計を各学生の履修授業科目の合計単位数で除した数を求めることによって算出する。</p> <p>またその結果は、卒業時の学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。</p>
卒業生・企業等の評価と活用	学内公開オーディションで、業界関係企業 50 社以上による学生評価を行い、その評価から、学生に足りないスキル等を次年度カリキュラム案に活用した。
成績不良者への対応	担任制度を設けており、出席率の低い学生に対しては、担任から学生本人に警告を行っている。それでも改善が見られない場合は、保護者に連絡し、都度、三者面談を行い無事卒業や進学できるよう、努力した。
学則・細則・内規に準拠した評価	「Guidance Book」に進級・卒業要件、各学科の必修科目等を記載し、ガイダンス時に学生に配布し公表した。また、上記 GPA の算出により成績評価を行い、ガイダンス時に配布する「シラバス」にて成績評価方法を公表した。

IV. 学修成果	
<p>就職・資格取得・中退予防等の取組が適切か</p>	<p>○就職支援 学内での公開オーディション、学内企業面談の開催、学内企業説明会の開催、新卒応援ハローワークによるマナー講座・面接模試、担任による個別でのエントリーシート添削・面接模試・個人面談等を行った。</p> <p>○資格取得 整体師、ヨガインストラクターの資格取得ができる授業科目を開講した。</p> <p>○中退予防の取組 年始と年度末に担任との個人面談を行い、修学上または進路の不安事項について相談を受け付けた。その他にも希望があり次第、都度面談、保護者との三者面談等を行った。</p>
<p>中途退学への対応</p>	<p>学生が退学の意志を申し出た際に、必ず担任と学生、保護者で三者面談を行い、保護者の同意、学生の意志を確認。その後、学校長へ報告し、すみやかに退学手続き対応を行った。</p>
<p>卒業生の活躍の状況</p>	<p>○プロダクション・劇団所属、マネージメント業で活躍している卒業生の主な進路先 株式会社 IAM IAM エージェンシー、株式会社 AIR AGENCY、株式会社オーチャード、株式会社オリエンタルランド、株式会社 KIE、劇団四季、劇団ひまわり、株式会社山王プロダクション、株式会社サンミュージックプロダクション、株式会社サンミュージック、株式会社 ZERO CREATION、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、常磐興産株式会社 ハワイアンズボーカル・ダンサー、合同会社パロマプロモーション、株式会社フラッシュアップ、株式会社プロダクション・エース、株式会社ユー・エヌ・ジェイ、株式会社リベラス、株式会社ワーサル</p> <p>○メディア・ステージスタッフ業で活躍している卒業生の主な進路先 株式会社ドリーム、株式会社メディア二十二世紀</p>

V. 学生・生徒支援											
担任、担任者による 進路・就職相談の実 施	定期的に進路希望調査を行い、担任との面談を希望している者には面談を実施した。										
卒業後の進路調査の 徹底	卒業時に、卒業生全員から必ず最終進路先報告書を回収し、徹底して把握した。										
新たな求人の開拓の ための活動	学内での公開オーディションや、企業説明会に向け、新たな企業参加数を増やすための連絡活動を積極的に行った。										
奨学金制度の整備	<p>本校で案内している奨学金の種類は以下である。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>日本学生 支援機構 (JASSO)</td> <td> <p>在学中の学校からの予約採用、本校入学後の在学採用で申し込み。※給付奨学金制度は在学中の学校からの推薦となる。</p> <p>※予約採用に関しては在学中の学校窓口へ問合せ。</p> <p>※本校より学生支援機構へ推薦後、採用されない場合もある。<a href="https://www.jasso.go.jp/">https://www.jasso.go.jp/</a></p> </td> </tr> <tr> <td>日本政策 金融公庫 (国の教育ローン)</td> <td> <p>全額政府出資の政府系金融機関のため、公的な融資制度として安心して利用できることや、低利で手続きが簡単であることから、全国的に多くの学生が利用している。入学前審査が可能で、早めに学費準備ができる。</p> <p><a href="https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html">https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html</a></p> </td> </tr> <tr> <td>オリコ学費 サポート プラン</td> <td> <p>学校提携の教育ローン。入学金・学費などの明細を元に、申請したい金額を指定することで、オリコから学校へ直接申請金額が振り込まれる。納付時期毎に申し込みができ、多彩なご返済プランを選択できる。</p> <p><a href="https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=14566202&amp;do=confirm">https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=14566202&amp;do=confirm</a></p> </td> </tr> <tr> <td>新聞奨学生</td> <td> <p>大手新聞社が運営する奨学金制度で、主として新聞配達や集金などの業務を行う代わりに、学費の貸与・月々の給与の支払いが受けられる制度。食事や住居の提供もあり、安定した学生生活が送れるよう配慮されている。</p> </td> </tr> <tr> <td>公益社団法人 東京都私学財団 東京都育英資金 貸付事業</td> <td> <p>都内に居住する在学学生で、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な学生に、無利息で奨学金を貸与できる制度。</p> <p>※申込み資格に全て当てはまる人が貸与の対象。</p> <p><a href="http://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html">http://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html</a></p> </td> </tr> </tbody> </table>	日本学生 支援機構 (JASSO)	<p>在学中の学校からの予約採用、本校入学後の在学採用で申し込み。※給付奨学金制度は在学中の学校からの推薦となる。</p> <p>※予約採用に関しては在学中の学校窓口へ問合せ。</p> <p>※本校より学生支援機構へ推薦後、採用されない場合もある。<a href="https://www.jasso.go.jp/">https://www.jasso.go.jp/</a></p>	日本政策 金融公庫 (国の教育ローン)	<p>全額政府出資の政府系金融機関のため、公的な融資制度として安心して利用できることや、低利で手続きが簡単であることから、全国的に多くの学生が利用している。入学前審査が可能で、早めに学費準備ができる。</p> <p><a href="https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html">https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html</a></p>	オリコ学費 サポート プラン	<p>学校提携の教育ローン。入学金・学費などの明細を元に、申請したい金額を指定することで、オリコから学校へ直接申請金額が振り込まれる。納付時期毎に申し込みができ、多彩なご返済プランを選択できる。</p> <p><a href="https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=14566202&amp;do=confirm">https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=14566202&amp;do=confirm</a></p>	新聞奨学生	<p>大手新聞社が運営する奨学金制度で、主として新聞配達や集金などの業務を行う代わりに、学費の貸与・月々の給与の支払いが受けられる制度。食事や住居の提供もあり、安定した学生生活が送れるよう配慮されている。</p>	公益社団法人 東京都私学財団 東京都育英資金 貸付事業	<p>都内に居住する在学学生で、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な学生に、無利息で奨学金を貸与できる制度。</p> <p>※申込み資格に全て当てはまる人が貸与の対象。</p> <p><a href="http://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html">http://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html</a></p>
	日本学生 支援機構 (JASSO)	<p>在学中の学校からの予約採用、本校入学後の在学採用で申し込み。※給付奨学金制度は在学中の学校からの推薦となる。</p> <p>※予約採用に関しては在学中の学校窓口へ問合せ。</p> <p>※本校より学生支援機構へ推薦後、採用されない場合もある。<a href="https://www.jasso.go.jp/">https://www.jasso.go.jp/</a></p>									
	日本政策 金融公庫 (国の教育ローン)	<p>全額政府出資の政府系金融機関のため、公的な融資制度として安心して利用できることや、低利で手続きが簡単であることから、全国的に多くの学生が利用している。入学前審査が可能で、早めに学費準備ができる。</p> <p><a href="https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html">https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html</a></p>									
	オリコ学費 サポート プラン	<p>学校提携の教育ローン。入学金・学費などの明細を元に、申請したい金額を指定することで、オリコから学校へ直接申請金額が振り込まれる。納付時期毎に申し込みができ、多彩なご返済プランを選択できる。</p> <p><a href="https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=14566202&amp;do=confirm">https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=14566202&amp;do=confirm</a></p>									
	新聞奨学生	<p>大手新聞社が運営する奨学金制度で、主として新聞配達や集金などの業務を行う代わりに、学費の貸与・月々の給与の支払いが受けられる制度。食事や住居の提供もあり、安定した学生生活が送れるよう配慮されている。</p>									
公益社団法人 東京都私学財団 東京都育英資金 貸付事業	<p>都内に居住する在学学生で、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な学生に、無利息で奨学金を貸与できる制度。</p> <p>※申込み資格に全て当てはまる人が貸与の対象。</p> <p><a href="http://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html">http://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/pa_ikuei1.html</a></p>										

	奨学金の申込方法や継続申請など、学生本人では把握しきれておらず手続きまでに時間がかかることが多かった。今後の課題として、学校として早めの段階で締切日を設けるだけでなく、学生保護者とも密に連携を取り、申込手続きがスムーズにできるよう対応していく。				
奨学金貸与者の推移	<table border="1"> <tr> <td>日本学生支援機構(JASSO)貸与奨学金受給者率</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>日本学生支援機構(JASSO)給付奨学金受給者率</td> <td>2%</td> </tr> </table> <p>本校では奨学金利用者の中で、日本学生支援機構による貸与者がほとんどの割合を占めている。日本学生支援機構奨学金については、本校入学前の新入生ガイダンス時に全員へ告知、在校生にも4月の段階で希望者を募るため、学生へ漏れなく周知することができた。</p>	日本学生支援機構(JASSO)貸与奨学金受給者率	27%	日本学生支援機構(JASSO)給付奨学金受給者率	2%
日本学生支援機構(JASSO)貸与奨学金受給者率	27%				
日本学生支援機構(JASSO)給付奨学金受給者率	2%				
学生寮の有無、管理・サービス状況	学校保有の学生寮はないが、提携している学生会館があり、資料請求時の案内、希望者への体験宿泊等の案内も随時行った。				
定期健康診断の実施及び受診項目	学校における学生及び職員の健康の保持促進を図るため、保健管理に関して、必要な項目を安全な環境において実施した。 受診項目は、身長・体重計測／視力／血圧／診察／心電図。 健診当日も出欠を確実にとり、受診できなかった学生に対しては、後日近くの診療所で各自受診してくるよう伝えた。				

VI. 教育環境	
施設の使用状況	平日 9:00～19:00、土日 9:00～17:00 で授業以外にも、学生は窓口で教室利用申請を行い、教室・設備を使用することができることとした。
普通教室、実習室の面積（全体、学年1人あたり）	演劇学科の普通教室として、第3教室（101.58㎡）第11教室（80.61㎡）、芸術学科の普通教室として、第5教室（49.15㎡）第6教室（49.15㎡）を設置している。
自学・自習室の有無	学生が自由にパソコン作業や、自学、DVD 観賞等を行えるスペースがある。
各室の安全性、セキュリティ対策の状況	玄関や各部屋に警備カメラを設置しており、不審者の出入りがないか、常に職員室で確認できるようにしている。 また学校に設置されたカードリーダーにICカードをかざすことによって、学生の登下校情報をあらかじめ登録された保護者のメールアドレスに配信し、学生の登下校状況を保護者が分かるようにしている。 これは、災害時の情報・状況配信にも役立っている。
卒業生の利用希望への対応	申請し、許可された者が利用することができる。

教育用機器備品の整備、充実度	各教室に設置されている機器については、毎年度、問題がないか十分に確認し、授業や行事活動に支障のないよう整備を行う。 また、業界のニーズにあったパフォーマンスをするにあたって必要な機材を定期的に見直し、常に最新のものに触れる環境を用意している。
視聴覚、情報機器の整備、充実度	CD プレイヤーやパワーアンプ、スピーカーなどを各教室に配置し、質の高い授業や自主稽古の場を提供できるよう配慮した。
学校行事による学生間、学年間の連帯意識の育成	学校行事ごとに、セクションを分け、学年ごとに学生リーダーを設けた。その学生リーダーを中心に学校行事の運営を行い、学生の主体性を大事にすることで、連帯意識の育成に注力した。
学校行事による学生、教職員間の連帯意識の育成	各担任教員は、各学生リーダーと連携を取り、情報共有を徹底し、学校行事運営のサポートを行った。
担任制による学生への対応の徹底と認識	ガイダンス時に、学生全員に向けて各学科の担任の紹介を行った。 担任は、授業の出欠状況の把握・学納金支払い状況の把握・学校行事の運営・進路相談等を随時行い、必要に応じて個別での面談・指導も行うことで、学生への個別の対応を強化している。
正課授業内に発生した事故への適切かつ迅速な対応	全学生が、災害傷害保険、インターンシップ活動賠償責任保険に加入しており、正課授業内に発生した事故は、教務事務担当者がすみやかに保険の手続きを行っている。2018年度保険適用者はいなかった。
防災の対応マニュアルの作成と適切な対応	防災マニュアルを作成しており、災害時にはそれぞれ担当となっている教職員が配置につき、対応する準備を整えている。
防災訓練等による学生への防災対策の周知	年間スケジュールで防災訓練日を周知させ、全員が必ず参加するよう積極的に働きかけた。
防災訓練の実施状況及び方法	2018年12月13日に防災訓練を行った。地域管轄の消防署から、消防隊員に学校へ来てもらい、実際の指導のもと防災訓練を実施した。 災害時を想定とした動きを実際に行い、教職員を担当箇所に配置させ、学生を避難場所へ誘導した。 また、消火器の使用方法を消防隊員の方に説明してもらい、学生たちが実際に使用しながら、実践的指導を受けた。

VII. 生徒募集	
広報活動開始の時期、方法	<p>入学願書の受付期間を AO 入試は 6/1 から、推薦入試は 10/1 から、一般入試は 11/1 から、それぞれ開始した。合格通知の発送は 8/1 以降に行った。</p> <p>以下広報活動の方法について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校案内、資料請求等の取得方法</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料請求 <a href="https://r-shingaku.com/ce/form/309/input">https://r-shingaku.com/ce/form/309/input</a></li> <li>2. オープンキャンパス <a href="https://www.jnc.nichigei.ac.jp/opencampus/">https://www.jnc.nichigei.ac.jp/opencampus/</a></li> <li>3. SNS(Twitter/Instagram/Facebook/LINE@)</li> <li>4. 各学校進路ガイダンス 各学校の進路ガイダンスへ参加し学校担当者による説明・相談会を行っている。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEB 閲覧用募集要項 <a href="https://www.jnc.nichigei.ac.jp/admission/require/">https://www.jnc.nichigei.ac.jp/admission/require/</a></li> </ul>
誇大広告の自己点検（学校案内等）	<p>誇大広告は行っていない。</p> <p>次年度以降、学校ホームページ、学校案内パンフレット、ポスター等のデザインや構成を大幅に見直す、など広報戦略に関する会議を重ね、問題点を改善する努力をした。このような会議は今後も継続して行う予定。</p>

VIII. 財務	
学校経営における適性度の点検	<p>監事による会計監査に加え、公認会計士による監査（中間監査と年度末監査）も適正に行われている。</p>

IX. 法令等の遵守	
法令遵守の状況について	<p>事務局長と本学園監事で弁護士の先生による、全教職員を対象にコンプライアンスセミナーを開催した。今後も継続的に法令等遵守に関する啓発活動を行っていく。</p>



X. 社会貢献・地域貢献	
<p>教職員・学生・生徒が活動するための学校の支援体制</p>	<p>ボランティア活動等の情報を随時、掲示板で知らせ、担任からも学生へ積極的に参加を呼びかけている。</p> <p>また、担任引率のもと、地域の警察署開催のイベントへの参加、被災地への慰問活動を行った。</p> <p>多くのボランティアに参加した学生には、卒業式でその功績を表彰している。</p>

## XI. 国際交流

### 留学生の受入れ・派遣のための体制整備

受験資格として、外国において12年以上の学校教育を修了した者で（財）日本語教育振興会の認定施設校（日本語学校）で6カ月以上の教育を受けた者、または、日本語能力試験（JLPT）のN1またはN2合格者の入学を受け入れている。

近年の留学生の受け入れ実績	
2016年	0名
2017年	2名
2018年	2名

留学生の入学があった場合、以下の報告を入国管理局へ行い、留学生管理体制の徹底を行っている。

- ・4月－受入れ状況報告
- ・5月、11月－現在の在籍状況報告
- ・3月－受入れ終了報告

また、留学生担当職員がおり、常に留学生のビザの期限を把握し、必要に応じてビザの更新手続き、学生サポートを行っている。

○留学生の就職サポート

- ・求人票を掲示し、学生がいつでも確認できるよう就職情報を案内している。
- ・年度内で企業説明会を設け、業界について学べる機会を設定している。

○留学生対象の奨学金について

奨学金希望者には、入学前から利用できる奨学金制度を案内し、手続きのサポートを行っている。

※日本留学奨学金パンフレット

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study\\_j/scholarships/icsFiles/afieldfile/2019/04/17/scholarships\\_2019\\_j\\_1.pdf](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/icsFiles/afieldfile/2019/04/17/scholarships_2019_j_1.pdf)

上記受験資格を設けることにより、入学後も言語面で留学生が悩むことなく、日本人学生の中に入りコミュニケーションをとることができた。

また、留学生も利用できる奨学金制度の案内をしたことで、留学生の本校進学の手続きがスムーズに進むことができた。